

透析療法事典 第2版

中本雅彦, 佐中 孜, 秋澤忠男 編

＜書評者＞ 岸本武利 (大阪市立大学名誉教授・泌尿器科学)

医学書院より出版された『透析療法事典 (第2版)』は初版から10年を経て内容を一新, 進化させ編纂されている。エビデンスに基づいた腎不全に対する透析療法とその関連領域を網羅し, 優れた編集により検索しやすい。また透析医学・医療のテキストブックにもなり得, 透析医療に関わるすべての人の必携すべき書の1つである。

透析医学・医療は従来の身体系統的医学分類には入れることのできない学際領域であり, わが国では約半世紀前から腹膜透析, 血液透析の血液浄化法が腎不全の救命手段として臨床に導入され, 成果を挙げてきた。当初は安全で副作用の少ない治療法の開発が急務で, 腎機能が廃絶し長期にわたるこの腎補助療法が人体にどのような影響を与えるか未知であった。また学際領域であるが故に, それぞれ異なった分野の医師が携わってい

たため, 皆が知恵を持ち寄り問題解決の努力を重ね発展させてきた。

すなわち, 透析医療従事者は各系統的疾患の専門家のアドバイスを得ながら, 透析者の身体全体を管理し生活指導を行ってきた。その成果を人工透析研究会 (現日本透析医学会) を主に持ち寄り, 意見交換を通じ自己研鑽し, 透析医学・医療の発展に貢献し透析医学を確立させ, 専門医制度を導入してきた歴史がある。その努力の積み重ねと経済発展に伴う医療費補助制度の充実とが相まってわが国の透析医療の普及を促し, 世界に誇る治療成績を挙げるに至った。その成果を本書に垣間みることができる。

本書の内容は, AKI (急性腎障害), CKD (慢性腎臓病) から腎不全, 透析, 腎移植と腎不全医療とその周辺に関する事項, さらに食事療法, 患者福祉までと総括的に取り上げられ, 透析者の健康管

理に必要な知識がこの1冊に集約されている。編集者を含めた執筆者は200名で, 医師のみならず化学工学者, コメディカルと異なったバックグラウンドを持ったエキスパートで, それぞれの専門性を生かし長期にわたり透析医学・医療に真摯に取り組んでこられた実務家を中心である。各項目は豊富な臨床経験とエビデンスに基づいた見解が重要引用論文を添え, 限られた字数の中でまとめられており, 理解を助けている。本書は臨床家にとって心強い味方になり, 診療の質の向上に資すると期待する。

たゆまぬ改善と提言で透析医療をより充実させることにより, 透析者のQOLがより向上し社会復帰が促進され社会に貢献することを願うとともに, 腎移植の普及を図り腎不全対策がより充実することを願う。

●A5 頁592 2009年
定価5,460円
(本体5,200円+税5%)
[ISBN978-4-260-00845-7]
医学書院刊